

令和8年度 宿泊税を活用する事業

観光の付加価値の向上や観光に係るサービス及び旅行者を受け入れるための体制の充実強化、災害等の危機に対応する取組等、観光振興を図る施策に活用します

〈宿泊税による施策の方向性〉

1 観光の高付加価値化



2 観光サービス・
観光インフラの充実・強化



3 危機対応力の強化



令和8年3月時点
北海道経済部観光局観光振興課

宿泊税活用事業一覧

【宿泊税活用事業について】

宿泊税収から賦課徴収や周知広報、施策検討に要する費用を控除した額を宿泊税活用事業へ充当

宿泊税活用事業費計 2,667,097
(うち宿泊税活用額計) (2,521,423)

〈宿泊税収見込額〉 〈徴税・施策検討経費〉 〈宿泊税活用額〉
3,227,880 - 706,457 = 2,521,423 【単位:千円】

1. 観光の高付加価値化

事業費:1,644,276
税活用額:1,638,780

① マーケティングの強化

- 拡**・北海道観光入込客数調査事業費 69,855
人流データを活用した観光入込客数調査を実施 (64,359)
- 新**・観光情報基盤構築事業費(マーケティングサイト構築) 299,112
観光に係る基礎データを収集しマーケティングサイトを構築 (299,112)

② 資源を活かした観光の推進

- 新**・地域偏在解消に向けた地方への送客支援事業費 24,318
地域周遊ツアーバス補助により、地方への送客を支援 (24,318)
- 新**・北海道の文化・歴史振興事業費 21,230
自然の中で地域文化資源や歴史を体験するナイトツアーを造成 (21,230)

③ 地域の取組支援

- 新**・観光地づくり加速化補助事業費【※】 945,187
観光関連事業者等が行う省力化や安心・安全、高付加価値化等に係る設備投資等を支援 (945,187)
- 新**・地域観光振興事業費(振興局事業) 284,574
各振興局において地域の実態・ニーズに即した施策を展開 (284,574)

3. 危機対応力の強化

事業費:150,000
税活用額:150,000

⑦ 危機対応力の強化

【※】観光地づくり加速化補助事業費の取組は【⑦危機対応力の強化】の方向性含む

- 新**・観光危機対応事業費 150,000
災害等の道内観光への影響の最小化を図るため、適切な初動対応に向けた体制整備や情報発信などの取組を実施 (150,000)

2. 観光サービス・観光インフラの充実・強化

事業費:872,821
税活用額:732,643

④ 人材の確保・育成

【※】観光地づくり加速化補助事業費の取組は【⑤受入機能の強化・高度化】の方向性含む

- 拡**・観光人材確保加速化事業費 150,619
北海道観光人材の確保・育成のため魅力発信や研修等を実施 (75,310)
- 新**・稼げるガイド育成に向けたキャリア構築支援事業費 21,886
セミナーや実地研修などを行い「稼げるガイド」キャリア構築を支援 (21,886)

⑤ 受入機能の強化・高度化

- 拡**・持続可能な観光地づくり推進事業費 64,507
マナー啓発動画作成や旅マエなどでの旅行者向けマナー啓発を実施 (57,400)
- 拡**・北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費 69,220
J R札幌駅に設置している観光案内所の移転経費 (31,548)
- 新**・自然公園における旅行者受入機能強化事業費 148,171
自然公園における道有施設の利便性向上のための整備と標識やガイドマップの多言語化を実施 (128,081)

⑥ 移動利便性の向上

- 新**・観光情報基盤構築事業費(デジタルプラットフォーム構築) 【再掲】
観光・交通に係る各種情報の集約などAIに対応したプラットフォームの構築
- 新**・観光客移動利便性向上補助事業費 218,418
観光目的の定期路線バスの立ち上げを支援 (218,418)
- 新**・公共交通利便性向上促進事業費補助金 200,000
交通事業者が行うキャッシュレスシステム等の導入を支援 (200,000)

注1)事業費のカッコ内は宿泊税活用額を示したものであり、一部事業にはその他財源(国費など)を含む。

注2)施策の方向性への分類については、最も関連する方向性に位置付けたもの。

新:新たに取り組む事業 **拡**:既存事業を拡充する事業

宿泊税活用事業一覧

1. 観光の高付加価値化

事業費:1,644,276千円
 税活用額:1,638,780千円

① マーケティングの強化

・ 北海道観光入込客数調査事業費(64,359千円)

観光入込客数調査において、人流データを活用した入込客数のデータを取得し、迅速な公表を図ることで、地域のマーケティングを支援

・ 観光情報基盤構築事業費(マーケティングサイト構築)(299,112千円)

人流・消費データなどを用いたマーケティングサイトを構築し、地域のマーケティングを支援

② 資源を活かした観光の推進

・ 地域偏在解消に向けた地方への送客支援事業費(24,318千円)

観光客の地域偏在を解消するため、対象地域を周遊するツアーバスの借上料支援を行い、地域への誘客を促進

・ 北海道の文化・歴史振興事業費(21,230千円)

自然の中で星空を眺めながら、北海道らしい独自の文化を楽しめる夜限定の新たなツアーを造成し、本道の文化・歴史の振興を図る



③ 地域の取組支援

・ 観光地づくり加速化補助事業費(945,187千円)

省力化や安心・安全、高付加価値化等に係る設備投資等を支援し、地域の特性や実情に応じた観光地づくりの推進を図る



・ 地域観光振興事業費(284,574千円)

総合振興局・振興局が地域と連携のもと、地域の実態・ニーズに即した観光振興施策を展開し、地域の課題解決を図る

2. 観光サービス・観光インフラの充実・強化①

事業費:872,831千円
 税活用額:732,643千円

④ 人材の確保・育成

・ 観光人材確保加速化事業費(75,310千円)

厳しい人材不足に対応するため、道内観光地の観光関連事業者向けの研修会やセミナー等を実施し、観光人材の確保・育成を図る



・ 稼げるガイド育成に向けたキャリア構築支援事業費(21,886千円)

新規参入者や若年ガイドを対象に、セミナーや実地研修、事業所とのマッチング等を実施し、ガイド業として生計を立てられるようなキャリア構築を支援



⑤ 受入機能の強化・高度化

・ 持続可能な観光地づくり推進事業費(57,400千円)

多言語によるマナー啓発動画を作成し、交通・観光施設等への動画提供やWEB広告などにより、旅マエ・ナカでのマナー啓発を図る

・ 北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費(31,548千円)

北海道さっぽろ観光案内所の移転リニューアル
 ・観光案内所の案内カウンターの東コンコースへの移設
 設計費用等



・ 自然公園における旅行者受入機能強化事業費(128,081千円)

自然公園における道有施設(遊歩道、登山道、トイレなど)及び多言語標識・案内板及びガイドマップを整備し、旅行者の利便性向上を図る



・ 観光地づくり加速化補助事業費(945,187千円)

【再掲】

省力化や安心・安全、高付加価値化等に係る設備投資等を支援し、地域の特性や実情に応じた観光地づくりの推進を図る

※各施策の方向性における合計は再掲を除く。カッコ内の数値は宿泊税活用額

宿泊税活用事業一覧

2. 観光サービス・観光インフラの充実・強化②

⑥ 移動利便性の向上

- ・ **観光情報基盤構築事業費** 【再掲】
(デジタルプラットフォーム構築) (299,112千円)

観光・交通に係る各種情報の集約などA Iに対応したプラットフォームの構築により、旅行者が必要な情報やサービスを円滑に活用可能な環境を整備

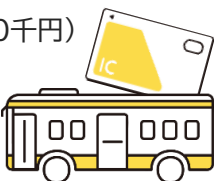
- ・ **観光客移動利便性向上補助事業費**(218,418千円)

複数の観光地等を結ぶ定期路線バスの立ち上げ支援を行い、観光客の移動利便性の向上を図る



- ・ **公共交通利便性向上促進事業費補助金**(200,000千円)

キャッシュレスシステムの導入等を行う事業者に対して支援を行い、公共交通機関を利用する旅行者等の利便性の向上を図る



3. 危機対応力の強化

事業費:150,000千円
 税活用額:150,000千円

⑦ 危機対応力の強化

- ・ **観光危機対応事業費**(150,000千円)

災害等に備え、関係機関と連携した体制整備や訓練、事業者支援を推進し、道内観光への影響最小化を図る。

- ・ 関係機関との協議による情報発信体制の整備
- ・ 防災訓練の実施や観光危機管理マニュアルの作成
- ・ 事業者向けのセミナーや相談支援
- ・ 災害等の道内観光への影響を最小化するための情報発信等



- ・ **観光地づくり加速化補助事業費**(945,187千円) 【再掲】

省力化や安心・安全、高付加価値化等に係る設備投資等を支援し、地域の特性や実情に応じた観光地づくりの推進を図る

※各施策の方向性における合計は再掲を除く。カッコ内の数値は宿泊税活用額

<参考>

① 宿泊税充当の原則的なルール

宿泊税を充当する事業は、次の「原則的なルール」に基づき検討

1. 政策目的(3つの施策の方向性)と整合的な施策
2. 旅行者(宿泊者)の受益という点で関連性が整理できる施策
3. 広域自治体の役割として整理できる施策

② 宿泊税活用事業における市町村との役割分担

市町村税による取組の自主性に配慮しつつ、適切な役割分担のもと、道と市町村双方の施策連携により相乗効果を創出

市町村

- 市町村内の施策
- 地域特有の課題対応

取組の連携により
相乗効果を高める

北海道

- 道内全域の施策
- 市町村を跨ぐ広域的な施策
- 全道域に効果が及ぶモデル的な施策

宿泊税活用事業一覧(振興局ごとの取組について(地域観光振興事業費))

総合振興局・振興局が地域と連携のもと、地域の実態・ニーズに即した政策を企画・立案・実施し、地域社会・道内経済の発展に資する観光振興施策を地域で展開する

地域観光振興事業費 総計	284,574千円
--------------	-----------

〈各振興局ごとの取組〉

【単位:千円】

地域	事業名	事業費	
道央	空知	空知の広域周遊促進と賑わいの創出プロジェクト推進事業	18,600
	石狩	石狩観光モビリティ実証事業	21,998
		石狩エリア手ぶら観光推進事業	15,102
	後志	訪日外国人向けマナー啓発事業	2,000
		グリーンシーズンの魅力向上事業	5,000
		地域交通人材確保事業	6,600
	胆振	広域周遊ルート構築事業	15,120
	日高	民泊施設品質・安全性向上推進事業(H2P)	4,048
		日高地域観光交通利便性確保事業	11,752
	道央(空知、石狩、後志、胆振、日高) 計		100,220

地域	事業名	事業費	
道南	渡島	みなみ北海道周遊ソールイズム促進事業~もう一泊プロジェクト~	22,500
	檜山	みなみ北海道~檜山プラスワン(コンテンツの磨き上げ支援)事業	8,873
		みなみ北海道~檜山プラスワン(情報発信)事業	7,327
道南(渡島、檜山) 計		38,700	

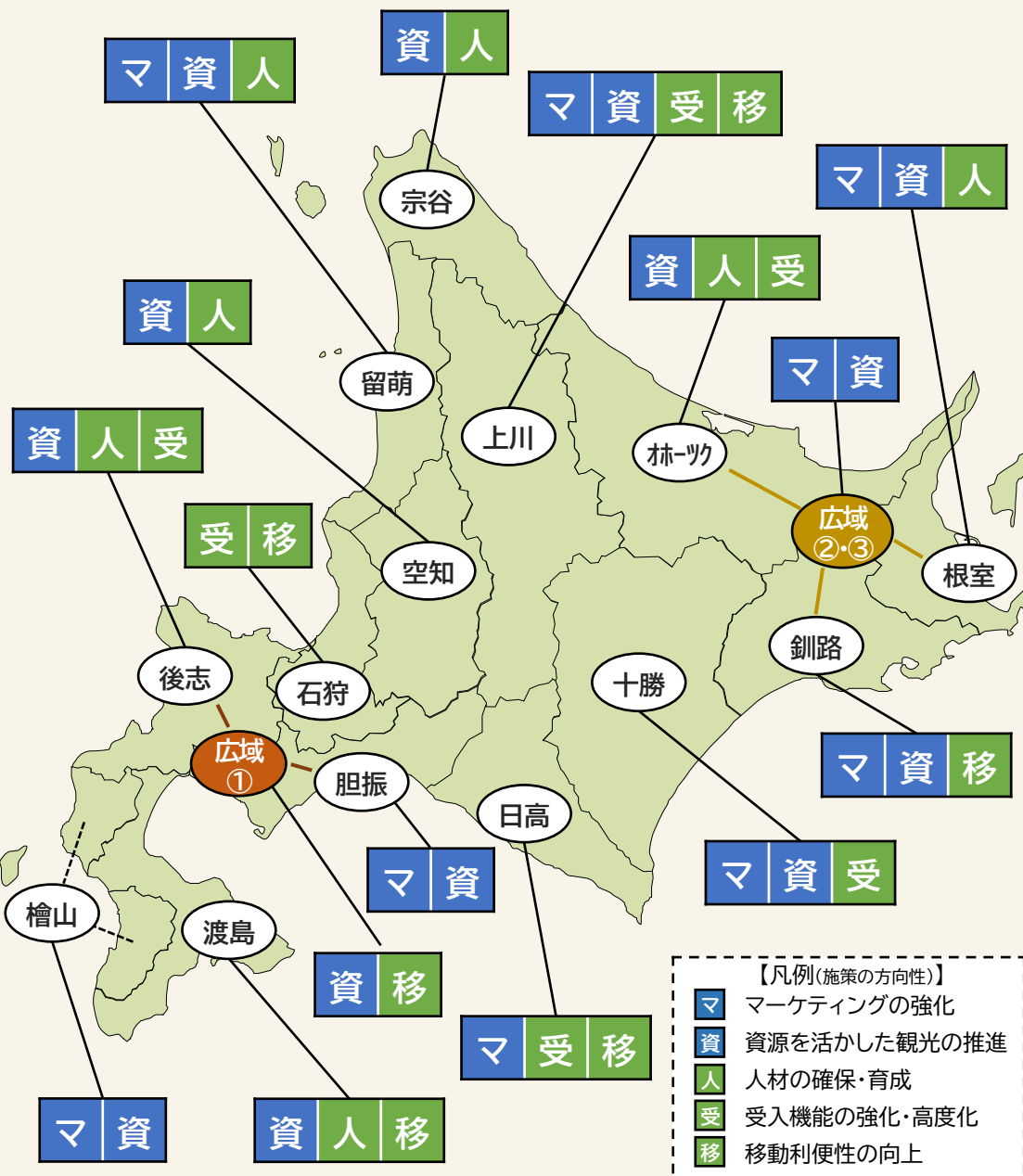
地域	事業名	事業費	
道北	上川	「かみかわバステつさんぽ」推進事業	7,061
		外国人運転者支援事業	15,532
	留萌	るもい地域観光客交通手段別動態調査事業	7,100
		るもい地域アウトドアコンテンツ開発事業	6,000
		オロロンライン・サイクルルート・モデル走行事業	3,300
	宗谷	宗谷エリアの観光客受入体制強化・周遊促進事業	17,000
	道北(上川、留萌、宗谷) 計		55,993

地域	事業名	事業費	
道東	オホーツク	広域連携による通年観光受入体制構築事業	16,588
	十勝	十勝圏広域観光戦略的魅力創造事業	19,599
	釧路	釧路地域インバウンドマーケティング強化事業	10,732
	根室	「野付半島・風蓮湖・根室半島地域」観光推進事業	10,433
道東(オホーツク、十勝、釧路、根室) 計		57,352	

〈振興局をまたぐ広域での取組〉

地域	事業名	事業費
後志・胆振	観光客広域移動利便性向上実証事業	7,060
	持続可能な周遊観光促進事業	8,820
オホーツク・釧路・根室	オホーツク・釧路・根室広域観光推進事業	10,791
	オホーツク・釧路・根室圏観光客動態調査事業	5,638
広域での取組 計		32,309

宿泊税活用事業一覽(振興局ごとの取組について(地域観光振興事業費))



地域	取組の内容	
道央	空知	○ 多様な観光資源の掘り起こしや観光人材の確保・育成 ○ 広域観光ツアー造成に向けた観光プログラムの検討・実証
	石狩	○ 新千歳空港と管内主要観光地及び宿泊施設等を結ぶバスの実証運行 ○ 新千歳空港と管内宿泊施設間の手荷物輸送サービスの実施
	後志	○ 訪日外国人向けルール・マナー啓発の広告掲出やチラシ等作成 ○ 体験コンテンツや観光資源を組み合わせたモデルルート造成や環境整備 ○ 旅行者が利用する地域交通維持に向けた人材確保のための求人PR
	胆振	○ 消費動向や旅行者ニーズの把握及び戦略的な広域周遊ルートの造成等
	日高	○ 民泊施設の質・安全性向上のための取組支援 ○ 移動実態調査、新千歳空港と観光拠点等を結ぶバス実証や管内の周遊促進
道南	渡島	○ 二次交通の利便性向上に向けた検討や地域の観光資源を活かした閑散期対策 ○ 観光を支える人材育成のための講座やセミナーの実施
	檜山	○ 地域資源を活用したモニターツアー、ナイトタイムコンテンツのガイド作成 ○ フリーペーパー等情報発信、周辺観光拠点を対象とした旅行行動調査
道北	上川	○ 新たな観光資源の発掘・調査、公共交通を活用した周遊ルートの情報発信 ○ 外国人運転者の道路標識等理解度調査、主要観光地の標識の多言語化
	留萌	○ 交通手段別の旅行者動態調査及び分析 ○ アウトドアコンテンツの開発やガイド育成、サイクルルート実証走行の実施
	宗谷	○ 冬季における宿泊施設・飲食店等の人材確保支援 ○ 閑散期周遊促進のためのスタンプラリー実施、観光パンフレット作成
道東	林-ツ	○ 観光メニュー(野鳥観察・歴史文化等)の開発及び人材育成 ○ 新規メニューに係るモニターツアー、周遊PR
	十勝	○ 周遊状況等の人流調査・分析と広域観光振興の連携推進に向けた方策取りまとめ ○ 観光コンシェルジュの配置及びモデルコースの検討
	釧路	○ 観光施設のインバウンドの訪問・受入状況等に関する調査 ○ 国際線就航に向けた要請・観光関係者FAMトリップの実施
	根室	○ 国定公園候補地の周遊デジタルスタンプラリーの実施 ○ 野鳥観光人材の育成や地域への理解促進イベント等の実施
広域	①	○ 後志・胆振管内の観光拠点から周辺観光地への周遊バスの実証運行 ○ 地域公共交通機関活用モデルコース造成やガイドマップ作成等
	②	○ 偏在解消や3圏域周遊促進に向けた戦略会議による構想策定 ○ 専門家等による圏域内調査等の実施
	③	○ 3空港(女満別・釧路・中標津)及びJR3駅(北見・網走・釧路)の利用者を対象としたヒアリング調査等の実施

宿泊税活用事業による効果

現状・課題

構造的な課題

〔地域偏在〕

旅行者の行き先が一部地域に集中

〔季節偏在〕

特定の季節や時期に混雑が発生

〔人手不足〕

観光を支える人材の不足

〔交通利便性〕

交通手段が限られるなどの不便さ

〔顕在化する課題〕

一部地域の過度な混雑やマナー問題など

〔危機対応〕

災害時の対応や風評被害

直面している課題

宿泊税活用事業

観光の高付加価値化

各種データ収集
観光情報サイト構築

地域の観光コンテンツの掘り起こし・磨き上げ

観光サービス・観光インフラの強化・高度化

人材の確保・育成

観光地間の移動手段充実

ルールやマナーの啓発

自然公園の受入強化

交通機関のキャッシュレス化

危機対応力の強化

災害時の体制整備

適切な情報発信

地域の特性や実情に応じた観光地づくり(旅行者の安全・安心、観光コンテンツの充実化など)

納税者となる旅行者(宿泊者)の受益

効果・メリット

新たな魅力や旅行目的の発見

わかりやすくスムーズな移動

快適でストレスの少ない滞在

災害時等のサポート充実

ニーズに合った観光情報の入手

質の高い観光サービスの享受

満足度や再訪意欲向上

安全・安心な旅行